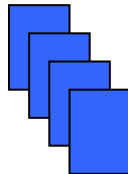


ニッセイ投資型年金(バランス型)
ドリームセレクトSTB

—変額年金保険(無配当H14)—

特別勘定の運用概況



- 1 特別勘定のラインアップ
- 2 特別勘定の運用状況(ユニット価格および資産残高)
- 3 ユニット価格とユニット価格騰落率の状況
- 4 お客様にご負担いただく費用について
(参考)組入投資信託の運用レポート

【ご留意いただきたい事項】

- 当資料は、『ニッセイ投資型年金(バランス型)ドリームセレクトSTB』の各特別勘定について運用状況等を開示するための資料です。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 特別勘定のユニット価格の値動きは、特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の値動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備え一定の現預金等を保有していることや、ユニット価格の計算にあたり、保険契約関係費等を控除することによります。
- お受取りいただく合計額が一時払保険料を下回ることがあります。
当商品は、国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績にもとづいて死亡給付金額や積立金額・解約払戻金額等が日々増減しますので、株価や債券価格の下落、為替の変動により、積立金額、解約払戻金額等が一時払保険料を下回ることがあり、損失が生じる可能性があります。
- 当商品の年金額はご加入時に定まるものではありません。
年金額は年金支払開始日の前日における積立金の合計額および年金支払開始日における基礎率(予定利率、予定死亡率等)によって計算されるもので、ご加入時には将来受取る年金額は定まっていません。
- 当商品にかかる費用については、「4 お客様にご負担いただく費用について」をご覧ください。

【新規のご契約のお取扱いはしていません。(増額につきましては、引続きお取り扱いしております。)]

詳しくは、変額保険販売資格を持った生命保険募集人までお気軽にご相談ください。

引受保険会社：
日本生命保険相互会社〒113-8661
東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート
ニッセイダイレクト事務センター 電話番号0120-562-186(通話料無料)
【受付時間】月～金曜日9:00～17:00(祝日、12/31～1/3を除く)
ホームページアドレス <https://www.nissay.co.jp>募集代理店：
三井住友信託銀行株式会社

特別勘定の運用概況

< ニッセイ投資型年金(バランス型)ドリームセレクトSTB >

1 特別勘定のラインアップ

ファンドコード	特別勘定名	<主たる投資対象となる投資信託/投資信託委託会社> 投資信託の運用方針/投資リスク	ベンチマーク	信託報酬率
2286	バランスI型 (ST-60)	<p><国内バランス60VA2^{※1} /三井住友トラスト・アセットマネジメント></p> <p>基本となる資産配分比率は、国内株式60%、国内債券20%、短期金融資産20%です(外貨建て資産への投資は行いません)。時価等の変動によって実際の資産配分比率が、基本となる資産配分比率と異なった場合、一定のルールにしたがって、基本となる資産配分比率に戻します。国内株式の運用は、TOPIX(東証株価指数)(配当込み)に連動する投資成果を、国内債券の運用は、ノムラ・ボンド・パフォーマンス・インデックス(総合)に連動する投資成果をめざします。</p> <p>【投資リスク】主に「株式の価格変動リスク」、「金利変動リスク」、「有価証券の貸付等に係るリスク」などがあります。</p>	<p>【各マザーファンド】</p> <p>■国内株式 TOPIX(東証株価指数) (配当込み)</p> <p>■国内債券 NOMURA-BPI(総合)</p>	<p>①および②の合計</p> <p>①年率0.66% (税抜0.6%)</p> <p>②^{※2}参照</p>
2240	世界公社債I型 (NP-GB)	<p><ニッセイ/パトナム・グローバル債券SA^{※1} /ニッセイアセットマネジメント></p> <p>日本を除く世界主要先進国の公社債を実質的な主要投資対象とし、投資信託財産の中長期的な成長を目指します。公社債の実質組入比率は原則として高位を保ちます。為替については公社債とは独立した投資対象と捉え、通貨配分のコントロールなどにより、運用効率の向上、収益の確保を図ります。外貨建資産については原則として為替ヘッジを行いません。</p> <p>【投資リスク】主に「金利変動リスク」、「為替変動リスク」などがあります。</p>	FTSE世界国債インデックス (除く日本、円換算ベース)	年率0.396% (税抜0.360%)
2260	日本マネーI型 (NL-MP)	<p>コールローンや預金などの短期金融商品に投資し、安定したインカムゲインを追求します。なお、当特別勘定では、日本生命が直接運用します。</p> <p>【投資リスク】主に「金利変動リスク」、「信用リスク」などがあります。</p>	-	-

※1 適格機関投資家専用設定される私募投資信託です。適格機関投資家向けであることを示す名称(適格機関投資家限定など)は省略して表記しています。

※2 有価証券の貸付を行った場合は、ファンドの品質料およびマザーファンドの品質料のうちファンドに属するとみなした額の50%未満。

- 主たる投資対象となる投資信託の組入比率は、原則高位を維持しますが、保険契約の異動等に備え一定の現預金等を保有します。
- 《1 特別勘定のラインアップ》に記載の事項は概要を示しています。詳細については、別途ご提供する「特別勘定のおしり」をご確認ください。

- 当資料は、『ニッセイ投資型年金(バランス型)ドリームセレクトSTB』の各特別勘定について運用状況等を開示するための資料です。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 特別勘定のユニット価格の値動きは、特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の値動きとは異なります。これは特別勘定が投資信託のほかには保険契約の異動等に備え、一定の現預金等を保有していることや、ユニット価格の計算にあたり、保険契約関係費等を控除することによります。
- 巻頭に《ご留意いただきたい事項》を記載しておりますので、必ずご確認ください。

特別勘定の運用概況

< ニッセイ投資型年金(バランス型)ドリームセレクトSTB >

2 特別勘定の運用状況 (ユニット価格および資産残高)

(2025年3月31日現在)

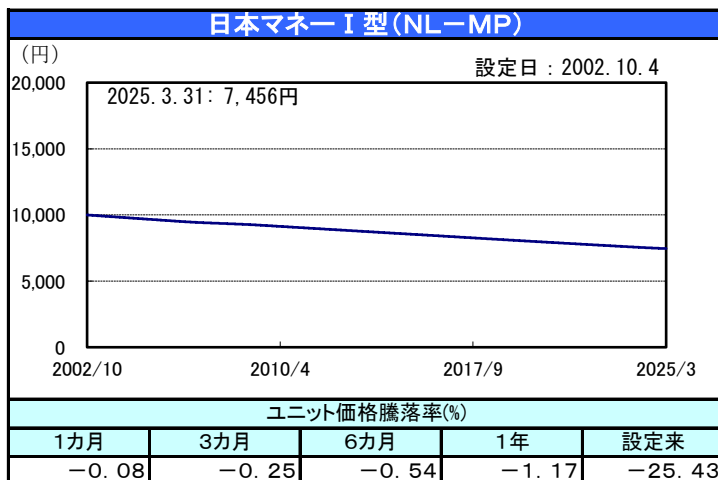
ファンドコード	特別勘定名	ユニット価格 (円)			主たる投資対象となる投資信託	投信会社	組入比率	資産残高 (百万円)
		今月末	騰落率	前月末				
2286	バランス I 型 (ST-60)	18,862	-0.25%	18,909	国内バランス60VA2 (適格機関投資家専用)	三井住友トラスト・アセットマネジメント	96.9%	8
2240	世界公社債 I 型 (NP-GB)	-	-	-	ニッセイ/パトナム・グローバル債券SA (適格機関投資家限定)	ニッセイアセットマネジメント	-	-
2260	日本マネー I 型 (NL-MP)	7,456	-0.08%	7,462	(当特別勘定は日本生命が直接運用します)	-	-	18

- ※ ユニット価格(1万口当り)は、円未満を切り捨てて表示しています。
- ※ 資産残高の金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。
- ※ 投資信託の組入比率は、発注等を加味した各特別勘定の実質的な組入比率です。
- ※ 日本マネー I 型(NL-MP)の資産の内訳

国債	0.0%
現預金・コールローン等	100.0%
合計	100.0%

3 ユニット価格とユニット価格騰落率の状況

(2025年3月31日現在)



※世界公社債 I 型(NP-GB)は2013年3月28日以降、契約者数が0となっているため、2013年3月27日までの騰落率を記載しています。

- 当資料は、『ニッセイ投資型年金(バランス型)ドリームセレクトSTB』の各特別勘定について運用状況等を開示するための資料です。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 特別勘定のユニット価格の値動きは、特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の値動きとは異なります。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備え、一定の現預金等を保有していることや、ユニット価格の計算にあたり、保険契約関係費等を控除することによります。
- 巻頭に《ご留意いただきたい事項》を記載しておりますので、必ずご確認ください。

特別勘定の運用概況

＜ニッセイ投資型年金（バランス型）ドリームセレクトSTB＞

4 お客様にご負担いただく費用について

* 以下内容は将来変更されることがあります。

■ 据置（運用）期間中の費用

＜すべてのご契約者にご負担いただく費用＞

次の費用を控除したうえでユニット価格は計算されます。

項目	目的	費用	時期
保険契約関係費	当保険契約の締結および維持などに必要な費用ならびに基本給付金額を最低保証するための費用および災害死亡給付金を支払うための費用。	特別勘定の資産総額に対して …年率1.40%	特別勘定の資産総額に対して年率1.40%/365日を毎日控除します。
資産運用関係費 (※1)	特別勘定の運用にかかわる費用。 特別勘定の投資対象となる投資信託の信託報酬などが含まれます。	特別勘定ごとに異なります。 信託報酬率については、《1 特別勘定のラインアップ(P2)》をご参照ください。	各特別勘定の資産総額から所定の金額を毎日控除します。

※1 資産運用関係費には、信託報酬のほか信託事務の諸費用等、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金が含まれますが、費用の発生前に金額や割合を確定することが困難なため表示することができません。お客様はこれらの費用を間接的に負担することとなります。
資産運用関係費は、運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により、将来変更される可能性があります。

＜特定のご契約者にご負担いただく費用＞

・特別勘定のユニット価格を計算した後に特定のご契約者にご負担いただきます。

項目	費用	時期
保険契約維持費	日本生命でご加入いただいているニッセイ投資型年金(バランス型)の基本給付金額の合計額が200万円未満のとき(※2) 各契約から毎月…400円	契約時および月ごとの応当日の翌営業日に積立金から控除します。
貸付利息	日本生命所定の利率	契約応当日の翌営業日に積立金から控除します。
解約控除	契約日(増額分については増額日。以下同じ。)から解約日までの年数が10年未満の場合に、契約日からの経過年数に応じ、基本給付金額に対して… 6.0%～0.6%(下表参照)	解約時に積立金から控除します。
	契約日(増額分については増額日。以下同じ。)から減額日までの年数が10年未満の場合に、契約日からの経過年数に応じ、減額する基本給付金額(※3)に対して… 6.0%～0.6%(下表参照)	減額時に基本給付金額の減額分に対応する積立金から控除します。

※2 既に成立が確認されている契約および増額に基づいて判定を行います。

※3 増額が行われたご契約の減額については、契約日からの基本給付金額部分、増額日の古い基本給付金額部分の順で減額を行い、それぞれの経過年数に応じた解約控除を積立金から差引きます。

解約控除率

契約日からの経過年数	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上 4年未満	4年以上 5年未満	5年以上 6年未満	6年以上 7年未満	7年以上 8年未満	8年以上 9年未満	9年以上 10年未満
基本給付金額に対する解約控除率	6.0%	5.4%	4.8%	4.2%	3.6%	3.0%	2.4%	1.8%	1.2%	0.6%

■ 年金支払期間中の費用

次の費用を控除したうえで年金額は計算されます。年金特約付加による年金支払の場合も同様です。

年金種類	5年確定年金	左記以外
保険契約関係費	支払年金額に対して…0.58%	支払年金額に対して…1.00%

年金支払開始日以降、年1回の年金支払日に責任準備金から控除されます。

* 年金特約の年金については2017年4月1日以降、主契約の年金については2017年7月1日以降、上記の率が適用されます。

* 年金支払期間中の費用は、将来変更される可能性があります。

当商品に係る費用の合計額は「据置（運用）期間中の費用（「保険契約関係費」「資産運用関係費」）」「年金支払期間中にかかる費用（保険契約関係費）」の合計となります。また、特定のお客様には「保険契約維持費」「貸付利息」「解約控除」がかかります。

ご契約に際しては、「特に重要なお知らせ（契約概要・注意喚起情報）」「ご契約のしおり一約款」「特別勘定のしおり」を必ずご確認ください。

- 当資料は、『ニッセイ投資型年金(バランス型)ドリームセレクトSTB』の各特別勘定について運用状況等を開示するための資料です。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 特別勘定のユニット価格の値動きは、特別勘定が主たる投資対象とする投資信託の値動きとは異なります。これは特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備え、一定の現預金等を保有していることや、ユニット価格の計算にあたり、保険契約関係費等を控除することによります。
- 巻頭に「ご留意いただきたい事項」を記載しておりますので、必ずご確認ください。

【特別勘定名】バランス I 型(ST-60)
 【投資信託名】国内バランス60VA2(適格機関投資家専用)

【投資信託委託会社】
 三井住友トラスト・アセットマネジメント
 株式会社

- 当資料は、ニッセイ投資型年金の特別勘定が主たる投資対象とする投資信託について運用状況等を開示するための資料です。
 当資料で開示される投資信託の運用状況等は、あくまで参考情報であり、お客様が直接投資信託を購入・保有するものではありません。
- 当資料は、投資信託委託会社からの運用報告を日本生命が提供するものであり、日本生命がその正確性・完全性を保証するものではありません。
 また、当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 特別勘定の運用状況等については、「特別勘定の運用概況」をご覧ください。

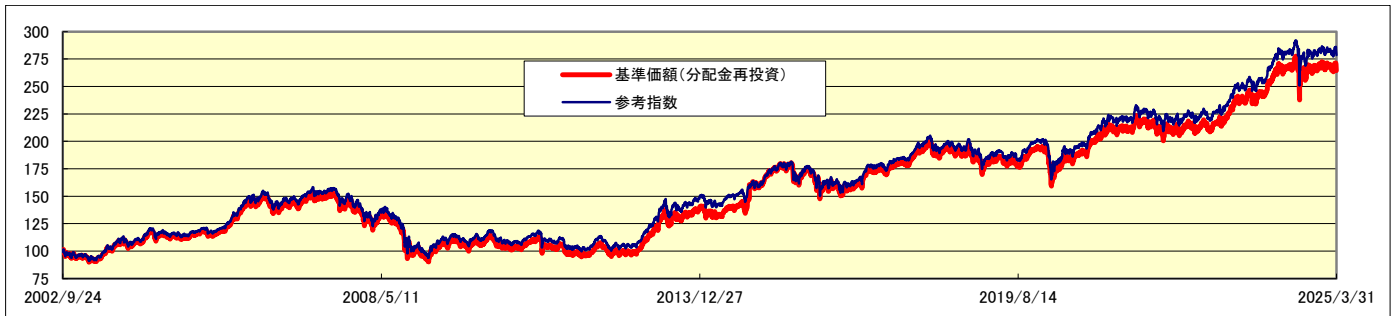
<資産配分>

(単位:%)		
国内株式	国内債券	短期金融資産
59.9	20.2	19.9

<純資産総額>

9 百万円

<設定来の運用実績>



- ※ グラフデータは指数化し、設定日から基準日までを表示しています。また、基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ※ 基準価額は、信託報酬控除後です。

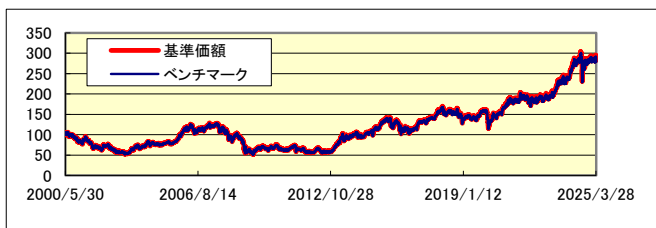
<騰落率>

(単位:%)							
	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来	
当ファンド	-0.14	-2.70	0.17	-2.08	23.19	164.36	
参考指数	-0.06	-2.51	0.40	-1.80	24.55	178.57	
差	-0.08	-0.19	-0.22	-0.29	-1.37	-14.21	

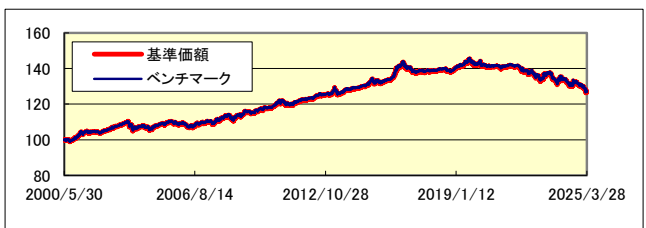
- ※ 騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ※ 参考指数は、各組入資産のベンチマークを指数化したものに、その資産の基本資産配分を乗じたものの合計を、当初設定日を100として指数化した合成インデックスです。

<各マザーファンドの運用実績>

【国内株式】



【国内債券】



<騰落率>

(単位:%)						
	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	0.21	-3.46	1.80	-1.56	47.19	182.68
ベンチマーク	0.22	-3.44	1.81	-1.55	47.24	178.58
差	-0.01	-0.02	-0.01	-0.02	-0.05	4.10

<騰落率>

(単位:%)						
	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
マザーファンド	-0.99	-2.38	-3.65	-4.74	-8.37	27.18
ベンチマーク	-0.98	-2.36	-3.64	-4.73	-8.36	27.65
差	-0.01	-0.02	-0.01	-0.01	-0.01	-0.47

<国内株式市場の動き>

国内株式市場は下落しました。月前半は、トランプ米政権がカナダとメキシコへの自動車の関税について1か月間の猶予を設けたことで過度な警戒感が後退し、上昇しました。月後半は、トランプ米大統領が米国に輸入される自動車へ25%の追加関税を課すことを発表したことで自動車関連株などが売られ、下落しました。

<国内債券市場の動き>

国内債券市場では、10年国債利回りが1.485%に上昇(価格は下落)しました。月前半は、低調な国債入札結果や、ドイツなど欧州長期金利の上昇を背景に国内金利も上昇しました。月後半も、米国の関税政策を巡る過度な警戒感が和らいだ場面で相対的に安全資産とされる債券が売られたことが金利の上昇要因となり、利回りは上昇しました。

<各資産のベンチマーク(グラフは各マザーファンドの当初設定日を100として指数化し、設定日から基準日までを表示。)>

国内株式 TOPIX(東証株価指数)(配当込み)

国内債券 NOMURA-BPI 総合

【特別勘定名】世界公社債 I 型(NP-GB)

【投資信託名】ニッセイ/パトナム・グローバル債券SA(適格機関投資家限定)

【投資信託委託会社】

ニッセイアセットマネジメント
株式会社

- 当資料は、ニッセイ投資型年金の特別勘定が主たる投資対象とする投資信託について運用状況等を開示するための資料です。当資料で開示される投資信託の運用状況等は、あくまで参考情報であり、お客様が直接投資信託を購入・保有するものではありません。
- 当資料は、投資信託委託会社からの運用報告を日本生命が提供するものであり、日本生命がその正確性・完全性を保証するものではありません。また、当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 特別勘定の運用状況等については、「特別勘定の運用概況」をご覧ください。

◆運用の特徴

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）をベンチマークとし、当該ベンチマークを中長期的に上回る収益の獲得を目指します。運用効率向上のため、ファミリーファンド方式を活用し、マザーファンドで現物債券の運用を行います。

◆設定来の運用実績



注) 上記のグラフは設定日を100として、指数化したものです。当ファンドの信託報酬率は純資産総額に対し年率0.396%（税抜 年率0.36%）です。基準価額の算出にあたっては信託報酬を控除してあります。

◆基準価額等

基準価額	20,948円
前月末比	222円
純資産総額	398百万円

◆組入比率

	組入比率
マザーファンド	100.0%
先物	-
短期金融資産	0.0%
合計	100.0%

※対純資産総額比

◆資産構成比率

海外債券	比率
うち現物	87.5%
うち先物	-
短期金融資産	12.5%

※マザーファンド/対純資産総額比

◆運用実績（税引前分配金再投資基準価額の騰落率）

	1ヵ月間	3ヵ月間	6ヵ月間	1年間	3年間	設定来
ファンド	1.07%	-3.05%	1.71%	0.92%	13.31%	109.48%
ベンチマーク	1.05%	-2.94%	2.20%	1.81%	16.05%	153.90%

※上記の騰落率は、あくまで参考データとする目的で過去の実績を示したものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

◆組入上位国

	国・地域	ファンド	ベンチマーク
1	アメリカ	46.1%	47.3%
2	フランス	7.3%	7.2%
3	イタリア	7.0%	6.8%
4	イギリス	5.4%	5.3%
5	ドイツ	4.6%	5.7%
6	スペイン	4.5%	4.4%
7	ベルギー	2.0%	1.5%
8	オーストラリア	1.9%	1.2%
9	カナダ	1.8%	2.0%
10	オランダ	1.6%	1.3%

※マザーファンド/対純資産総額比

※国・地域はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

◆通貨別構成比

	通貨	ファンド	ベンチマーク
1	アメリカドル	48.0%	47.3%
2	ユーロ	29.0%	29.5%
3	オフショア人民元	11.0%	11.2%
4	イギリスポンド	5.0%	5.3%
5	カナダドル	1.5%	2.0%
	その他	5.5%	4.7%

※マザーファンド/対純資産総額比

◆組入債券属性

	ファンド	ベンチマーク
平均格付	AA	AA
平均デュレーション	5.42年	6.18年
平均最終利回り	3.45%	3.52%

※マザーファンド

※平均格付とは、マザーファンドが組み入れている債券にかかる格付を加重平均したものであり、当ファンドにかかる格付ではありません。

◆運用の概況

当月の米長期金利は前月と変わらない水準で引けました。前半は、米商務長官がメキシコとカナダに対する関税軽減を示唆したことや、ウクライナが米国の提示した30日間の停戦案を受け入れる用意があるとの報道等を受けて、金利は上昇しました。後半は、米連邦公開市場委員会(FOMC)で政策金利が据え置かれた一方で、保有資産を圧縮する量的引き締め(QT)の減額方針が決定されたことや、パウエル米連邦準備制度理事会(FRB)議長が「関税によるインフレ影響は一時的である」と示唆したことを受け、金利は低下しました。その後、金利はボラティル(変動が激しい)に上下したものの、月末にかけてはトランプ米政権による追加関税の発動を控える中で市場心理がリスク回避に傾いたことで債券は買い戻される展開となり、米長期金利は月末時点で4.21%となりました。

当月の欧州(独)長期金利は前月から大幅に上昇しました。前半は、ドイツで最大野党と首相が所属する与党が財政赤字を一定の規模に抑える「債務ブレーキ」の枠組みを超えた大規模な財政拡大案について合意した旨が報じられ、大幅な金利上昇となりました。その後、欧州中央銀行(ECB)理事会では市場予想通り政策金利の0.25%引き下げが決定されましたが、声明文に「金融政策は実質的に引き締めの方向でなくなりつつある」との文言が盛り込まれ、追加の利下げに慎重な姿勢が示されたことで金利は再び上昇しました。後半は、トランプ米政権による関税政策が欧州の景気に悪影響を及ぼす懸念などから金利は低下し、月初からの金利上昇幅を縮小させる展開となりました。月末時点での欧州(独)長期金利は2.74%となりました。

当月の運用については、金利変動リスクの大きさを示すデュレーションは、ベンチマーク対比で短めに調整しました。国・地域別配分は、ベンチマーク対比でアメリカ等を多め、ドイツ等を少なめとしました。ベンチマーク対比の通貨配分は、前月末との比較では米ドル等を引き上げ、ユーロ等を引き下げました。

注) 当資料は信頼できると思われる情報に基づきニッセイアセットマネジメントにより作成されていますが、ニッセイアセットマネジメントはその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。